



CH07  
Hans J. Wegner  
W92 x D82 x H74 / SH35



CH22  
Hans J. Wegner  
W69.5 x D61.5 x H72.5 / AH58.8 / SH37



CH25  
Hans J. Wegner  
W71 x D73 x H73 / AH55 / SH35



CH28P  
Hans J. Wegner  
W73 x D67 x H77 / AH61 / SH37



CH44  
Hans J. Wegner  
W64 x D66 x H80 / AH62 / SH39



CH45  
Hans J. Wegner  
W61 x D82 x H106 / AH67 / SH39



CH445  
Hans J. Wegner  
W90 x D90 x H103 / AH60 / SH39



CH468  
Hans J. Wegner  
W94 x D94 x H105 / AH65 / SH40



CH78  
Hans J. Wegner  
W84 x D80 x H106 / AH62.5 / SH40



CH71  
Hans J. Wegner  
W70 x D70 x H84 / AH62 / SH41



RF1904  
Rikke Frost  
W92 x D75 x H74 / AH74 / SH41



EO15  
EOOS  
W75 x D80 x H85 / AH60 / SH40



FH419  
Frits Henningsen  
W76 x D95 x H102 / AH60 / SH41



FH429  
Frits Henningsen  
W67 x D89 x H102 / AH 47.5 / SH41

## ENJOY YOUR TIME

ひとりで集中するための、自分だけのスペースを。  
家族や仲間と共に過ごす、和やかな時間のための豊かなスペースを。ラウンジチェアの選び方次第で、シチュエーションに合わせた空間を工夫することができます。目的に合った機能性や掛け心地はもちろんのこと、空間に調和するサイズや素材、色を、カール・ハンセン＆サン ラウンジチェアコレクションの中から見つけてください。

### VLA75/VLA76/VLA77

ヴィルヘルム・ラウリッツェンが設計したコペンハーゲンのラジオハウス (Radiohuset 1945年) の壮麗なホワイエのためにデザインされた VLA76 ラウンジチェアと VLA77 ソファ。Foyer シリーズとも呼ばれます。オリジナルのデザインに敬意を表して製品化されました。木製のフレームに支えられ、わずか数本のネジで固定されている張地の座面をはじめ、この家具は人の体に沿うよう、実直に形作られています。繊細な表情の VLA75 Foyer ベンチにも手作りのボタンが付いています。



カール・ハンセン＆サン 東京本店  
東京都港区北青山 3-5-12 JRE 青山クリスタルビル 1F TEL 03-6455-5522

カール・ハンセン＆サン 大阪  
大阪府大阪市西区南堀江 1-15-22 TEL 06-6606-9026

carlhansen.com

## LOUNGE STYLE



BY APPOINTMENT TO  
THE ROYAL DANISH COURT

CARL HANSEN & SØN



VLA76  
Vilhelm Lauritzen Architects  
W64.5 x D80.5 x H79 / AH60.5 / SH39



FK10  
Preben Fabricius & Jørgen Kastholm  
W74 x D85 x H93.5 / SH37



FK11  
Preben Fabricius & Jørgen Kastholm  
W74 x D85 x H74 / SH37



KK47000  
Kaare Klint  
W57 x D57 x H80 / AH56 / SH34



MG501  
Morten Gøttler  
W61 x D79 x H76 / SH39



OW149  
Ole Wanscher  
W65 x D69 x H85 / AH62 / SH46



TAO01P / T  
Tadao Ando  
W80 x D86 x H100 / SH36



CH101  
Hans J. Wegner  
W78 x D77 x H71 / AH61 / SH43



RF1903F  
Rikke Frost  
W76 x H41



CH446  
Hans J. Wegner  
W62.5 x D49 / SH37.5



CH53  
Hans J. Wegner  
W50 x D38 x H44, 48 / SH39, 43



EO16  
EOOS  
W68.5 x D38 / SH41



FH420  
Frits Henningsen  
W52 x D42 / SH37



FH430  
Frits Henningsen  
W59 x D55 / SH40



KK97170  
Esben Klint  
W57 x D57 / SH34



OW149F  
Ole Wanscher  
W60 x D40 / SH46



OW2000  
Ole Wanscher  
W55 x D32.5 / SH37.5



# MG501



## MG501

MG501 キューバチェアは、モーテン・グッドラーによる1997年のデザイン。フォルムの美しさと機能性を追求したモダンデザインの典型です。折りたたみ式の椅子を追求してきた先代デザイナーたちの影響が色濃いデザインと言えます。



## OW149

OW149 コロニアルチェアは、オーレ・ヴァンシャーにより1959年に発表されました。伝統的なスタイルの優雅さと格式を残したモダンデザイン。考え抜かれた構造により、優れた強度をもたせ、洗練された曲線を描く特徴的なアーム。先端で真下にカーブさせる、ヴァンシャーらしい意匠です。後ろ脚を若干カーブさせることによって、椅子に安定性を与え、優雅な傾斜のあるシルエットを創り上げています。

## E021

E021 エンブレイス・ラウンジテーブルには、用途の異なる2種類のモデルが用意されています。いずれも円形の木製天板が浮いたように見える、スチールワイヤー製の支柱が印象的で、空を舞うカイト（凾）にインスピレーションを得た軽快なデザインです。



# OW149 / E021

# RF1904 | RF1905 / CH71



## RF1904

RF1904 Sideways ラウンジチェアは、RF1903 Sideways ソファのラインエクステンションとして発表。コンテンポラリーなインテリアに快適さと会話をもたらします。無垢材のフレームと、編み上げられた背面のペーパーコードが特徴です。硬めの座面はあらゆる角度から体をしっかりサポートし、快適な座り心地を提供します。

## RF1905

RF1905 Sideways コーヒーテーブルは、有機的な形状をした木製フレームとテーブルトップ、2つの要素で構成されています。テーブルトップは、真鍮製のパーツによって固定され、オーク材またはウォールナット材においては片面をラミネート材とすることが可能です。オプションにはイタリア産大理石もご用意しています。

## CH71

CH71 ラウンジチェアは、ハンス J. ウェグナーによる1952年のデザイン。ウェグナーの木材や張地加工への深い造詣から生まれた逸品です。限られたスペースでの使用を考慮したコンパクトなフォルムで実現したラウンジチェアです。

## CH22

ハンス J. ウェグナーによるCH22は、2016年復刻を果たしました。アームレストの形状、ペーパーコードの座面、そして成形合板製の背もたれのほか、座面フレームのコーナーに施されたフィンガージョイントや前脚の接合に用いられた木製の模など、随所にウェグナーならではの特徴が見受けられます。

## CH25

CH25 は、ハンス J. ウェグナーが当時のカール・ハンセン&サンとの工房に3週間滞在中、開発した最初の椅子シリーズの一つ。ウェグナーは、座と背に使用したペーパーコードに耐久性と美しさを見出しました。1950年の発表以来途切れることなく生産されています。



# RF1903 | CH07 / CH22 | CH25



## RF1903

リッケ・フロストによるRF1903 サイドウェイ・ソファを構成するのは、曲げ木加工の背板とオーガニックなフォルムの二人掛けのシート。相手と斜めに対面するような形状が会話を弾ませます。人を招き入れるような開放的な低めの背を構築しているのは、無垢の木材とペーパーコード。それらの素材は、このソファの印象をより軽快なものにしています。

## CH07

ハンス J. ウェグナーの代表作として知られるCH07は、どこから見ても美しく、表裏があつてはならないという考えが見事に体现されています。1963年の発表から数十年を経た1998年、満を持して復刻されました。広げた羽のようなフォルム、先端にむかってテーパのついたアーチを描く脚。椅子が浮遊するような軽快さを与えています。

